

令和2年1月31日

名古屋教育医療記者会 各位

名古屋市立大学病院 循環器内科

部長 大手 信之 電話 : 052-853-8221

名古屋市立大学病院 医事課

課長 保々 浩明 電話 : 052-858-7120

(名古屋市政記者クラブと同時発表)

AI 技術で虚血性心疾患診療に大きな変革！ 非侵襲的心筋血流予備比検査 (FFR-CT) を導入

名古屋市立大学病院は、生活習慣病の一つであり死亡数・死亡率ともに増加傾向が続く心疾患のうち、狭心症や心筋梗塞など冠動脈疾患の疑われる患者に対して、従来と異なり、CT を用いて非侵襲で心筋の血流を測定する手法を、下記の通り導入することとなりましたので、お知らせします。

なお、2月より運用を開始する予定です。

記

検査手法名称 FFR-CT

検査手法概略 冠動脈疾患が疑われる、臨床状態の安定した患者に対し、冠動脈コンピュータ断層血管造影(心臓 CT)データを基にした数値流体力学解析を行うことにより、FFR-CT 値を算出し、機能性虚血を評価するもの。

その他

- ・従来は心臓カテーテル検査で心筋の血流を測定。
- ・施設要件として、以下の3つを満たすこと
 - ①日本循環科医学会の研修施設、日本心血管インターベンション治療学会の研修施設、および、日本医学放射線学会の総合修練機関のいずれにも該当する
 - ②放射線科診断専門医による適切な被ばく管理を実施
 - ③冠動脈 CT の撮影加算を算定している施設

※取材をご希望の際は、事前に病院広報担当(長谷川・篠田 電話 052-858-7114) までご連絡をお願いします。